

# 河合克行内閣総理大臣補佐官ふるさとづくり実践活動チーム

## 久米島視察

3月7日～8日にかけて、総務省主催の「ふるさとづくり実践活動in久米島」が開催されました。日本人の心のよりどころであるふるさとを愛する気持ちを育み、誇りあるふるさとを取り戻すため、ふるさとづくりの取り組みを進めて行くことを目的に、昨年10月に有識者らで「ふるさとづくり実践チーム」が発足され、現地活動先として滋賀県長浜市に続く全国第2弾目として久米島町が選ばれました。



河合克行内閣総理大臣補佐官を筆頭に、4名の実践活動チーム委員の皆さんが、7日久米島町に到着し、「久米島モデル」の実現に取り組む町内の海洋深層水関連施設を視察したほか、久米島高校魅力化事業で全国的に注目を集めている交流学習センター「じんぶん館」などを訪れました。

その後、久米島町役場で行われたパネルディスカッションでは、ふるさとづくり実践チームの皆さんと、地元で活躍する皆さんで、ふるさとづくりに関する意見交換が行われました。

パネルディスカッションでは、(株)ゆがふホールディングスの前田貴子さん、(株)地域事業再生パートナーズの今若明さん、(株)文化事業部のセラ・マリ・カミングスさん、(株)JTB中部交流文化部の武田道仁さんが実践チームのパネラーとして、FM久米島の宇江城久人さん、おやつ村の儀間一美さん、(合)生活ingの宇根哲也さん、NPO久米島の松山悦子さんら4人が地域の代表として、それぞれの取り組みや活動内容を報告したほか、これからのふるさとづくりについて活発な意見交換を行いました。



おやつ村の儀間一美さんは「久米島の最大の魅力は“人”にある。他の地域にない島の魅力を発掘しアピールしていきたい。」とこれからの島づくりについての提言がなされました。

河合克行内閣総理大臣補佐官が「視察も、意見交換も感動した。久米島は只者ではないと感じた。ぜひ総理大臣に報告したい。」と述べたほか、前田貴子委員からは「初めて訪れた久米島のポテンシャルの高さに驚き、多くの素晴らしい資源を幾重にも活かそうとする島民の知恵と行動力に更に驚かされた。全国的にも久米島町は、ふるさとづくりの素晴らしいモデルになる。」との感想を頂き、久米島らしいふるさとづくりを考える、貴重な場となりました。

健康保険証が  
ご利用できます

からだの痛み・悩みを

# 自宅で解消!

ご自宅まで往診します

＼こんな方にオススメ／

肩や腰の  
**痛み**

なかなか  
とれない方

高齢や障害、  
その他の原因で  
**外出が  
困難**

75歳以上の  
**高齢者**  
からだに  
**障がい**  
のある方

治療内容 リハビリ、機能訓練、はり、お灸、マッサージ

詳しくはwebを検索!

お気軽にお問い合わせください【営業時間 9:00～18:00】

## TEL.098-985-5070